

J S A F P H R F 小委員会 八木達郎

「オープンレース」において同じコース上で経験則レーティング (PHRF) と正式レーティング (「IRC」「ORC」) とがクラス分けされて運用されているケースが多いが、これはいわゆる「デュアルスコアリング」ではない。「デュアルスコアリング」とは、同じコースのレースなら「一つのレーティング」を参加資格として全体をスコアリングしながら、「他のレーティング」の成績も同時に発表するというものであり、その目的は「同じようなポテンシャルの艇が同じコース上で別のレースを行うことにより、レースそのものの興味をそがれないように。」と考えられたものである。(正式レーティングどうしても、デュアルは可能)

もう一つの目的は、雑多な艇群をそれぞれのポテンシャルに応じて細かくクラス分け (グループ分け) することにより、ヨットレース本来の競い合う楽しみを与えようとするものであり、これが「レーティング」を一つにまとめることの最大のメリットとなる。これにより「オープンレース」に参加する目的を、「景品」や「イベントそのもの」から少しでもヨットレース本来の「競い合う楽しみ」を得られるようにすることが可能になる。またこのためには十分な「タイムリミット」(もしくはコース短縮) によりできるだけ多くの艇を完走させることと、「レース結果」を速報で速やかに出すことが必要になる。

<問題点>

「正式レーティング」の結果が発表されると、「経験則レーティング」との違う結果が現れることがある。この場合は「ポテンシャルの評価方法がちがうだけ」と答えるのが望ましいが、「経験則レーティング」にもそれなりに高いレベルが要求される。(これは「正式レーティング」からの換算を奨めるものではない。) これらのレーティングに対する評価は、どちらが正しいかではなく、どちらの方が「違和感」がないかで評価されることが望ましい。

「経験則レーティング」があれば「正式レーティング」を取得する必要がないのでは? という考え方があるがこれは間違い。「正式レーティング」が「レベルの高いレース」を主催運用することによって、「より底辺のレース」を「経験則レーティング」が支えることができる。

以上